

第 15 回名古屋市スケート競技会 みなとアクルス杯

要 項

- 1 主 催 名古屋市スケート協会 愛知県スケート連盟 邦和みなと スポーツ&カルチャー
- 2 主 管 名古屋市スケート協会
- 3 後 援 (公財)名古屋市教育スポーツ協会 中日新聞社
- 4 期 間 2025 年7月 19 日(土)～7月 22 日(火)
- 5 会 場 邦和みなと スポーツ&カルチャー アイスリンク(屋内人口氷 60m×30m)
〒455-0015 名古屋市港区港栄1-8-23 052-654-0791
- 6 日 程 2024年 7月19日(土)18:30-22:00 公式練習
7月20日(日) 7:00-21:30 競技・表彰(選手権 SP・Jr 選手権 SP・5 級・1 級・初級)
7月21日(月) 8:00-21:30 競技・表彰(2 級・Jr 選手権 FS・級選手権 FS)・表彰
7月22日(火) 7:00-21:00 競技・表彰(3 級・4 級・NvB・NvA)
予定となります。申し込み状況で変更の場合もあります。
- 7 競技種目 シングル ペア アイスダンス(オープン競技)
- 8 競技課題 別記のとおり。
- 0 競技規程 国際スケート連盟規程、名古屋市スケート協会規程による。
- 10 参加資格 ①名古屋市スケート協会登録競技者、愛知県スケート連盟登録競技者、(公財)日本スケート連盟登録者のいずれかに該当する者。
(名古屋市スケート協会の会員資格は名古屋市内に在住、または、在学、勤務する者。)
②所定クラスのバッジテスト級を取得する者。または見込みの者。
③競技会当日において、スケート競技を対象に含む傷害保険と賠償責任保険に加入している者。
④特別に参加を認めた者。
※ ①④のいずれかに該当する者は、③の条件は満たしていること。
但し、オープン競技のアイスダンスについては採点をしない。
- 11 表 彰 ①各クラス 1 位～3 位の入賞者に賞状とトロフィーを授与。
②本大会で競技力の向上が顕著だった選手に、みなとアクルス杯を授与。
③男女の最上級クラスの優勝者に市長賞を授与(申請中)。
④ジュニア選手権又はノービス A・B の優勝者に名古屋市体育協会賞を授与。
※出場クラスが5名以下の場合は、同級クラスと包含する。
- 12 申込み方法 (公財)日本スケート連盟のマイページからお申込下さい。同時に参加料も振り込み下さい。
- 13 参 加 料 名古屋市スケート協会・愛知県スケート連盟の会員 それ以外の非会員
初級～2級、ダンス 1名11,000円 初級～2級、ダンス 1名13,000円
3級～5級、ノービス 1名13,000円 3級～5級、ノービス 1名15,000円
ジュニア選手権、選手権 1名15,000円 ジュニア選手権、選手権 1名17,000円
※1 ジュニア選手権・選手権の参加者は全員ショート・フリーを実施する予定、申し込み状況で変更もあり
参加料の振込み先:三菱UFJ銀行 名古屋駅前支店 普通預金5875185
「名古屋市スケート協会 理事長 久野 千嘉子」
- 14 申し込み期限 2025年6月23日(月)
- 15 音 楽 音源はマイページより登録する事。予備音源はCDに限る。
- 16 そ の 他 1)競技中の事故等については応急処置をいたしますが、その責任は負いません。
2)選手・1階エリアへの入場はIDカードが必要です。(選手・コーチ・保護者 1 名の観覧は無料)
3)観客席での写真撮影およびVTR撮影は禁止いたします。
4)本大会は**ブロック大会「ミニマム取得可能競技会」**です。
5)問い合わせ先 大会実行委員会 (asufsp@yahoo.co.jp)

【競技課題】

性別	クラス	参加資格		時間	課題
男子	選手権	7級以上	2025年7月1日以前に17歳に達している者	2分40秒±10秒 4分±10秒	ISUシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ジュニア選手権	5級以上	2006年7月1日～2012年6月30日の間に出生した者	2分40秒±10秒 3分30秒±10秒	ISUジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ノービスA	4級以上	2012年7月1日～2014年6月30日の間に出生した者	3分±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	ノービスB	3級以上	2014年7月1日～2016年6月30日の間に出生した者	2分30秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	4級クラス	4級	中学生以上 小学生以下	3分±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	3級クラス	3級	中学生以上(大学生はインカレ資格での出場が可能) 小学生以下	2分30秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	2級クラス	2級	中学生以上 小学生以下	2分±10秒	別記1
	1級クラス	1級	中学生以上 小学生以下	1分±10秒	別記2
	初級クラス	初級	中学生以上 小学生以下	1分±10秒	別記3

性別	クラス	参加資格		時間	課題
女子	選手権	7級以上	2025年7月1日以前に17歳に達している者	4分±10秒 2分40秒±10秒	ISUシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ジュニア選手権	6級以上	2006年7月1日～2012年6月30日の間に出生した者	3分30秒 2分40秒±10秒	ISUジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ノービスA	6級以上	2012年7月1日～2014年6月30日の間に出生した者	3分±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	ノービスB	5級以上	2014年7月1日～2016年6月30日の間に出生した者	2分30秒±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	5級クラス	5級	中学生以上 小学生以下	3分30秒±10秒	(公財)日本スケート連盟 ジュニア課題
	4級クラス	4級	中学生以上 小学生以下	3分±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	3級クラス	3級	中学生以上(大学生はインカレ資格での出場が可能) 小学生以下	2分30秒±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	2級クラス	2級	中学生以上 小学生以下	2分±10秒	別記1
	1級クラス	1級	中学生以上 小学生以下	1分±10秒	別記2
	初級クラス	初級	中学生以上 小学生以下	1分±10秒	別記3

ペア

	選手権	7級以上	2025年7月1日以前に17歳に達している者	4分±10秒 2分40秒±10秒	ISUシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ジュニア選手権	6級以上	男子 2002年7月1日～2012年6月30日の間に出生した者 女子 2004年7月1日～2012年6月30日の間に出生した者	3分30秒±10秒 2分40秒±10秒	ISUジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング

アイスダンス(オープン競技のため採点なし)

	自由選択	ブロンズ以上 (パートナーの1名は所持していること)	選手権		リズム・ダンス又は フリー・ダンスのどちらか 1カテゴリーを選択
			ジュニア選手権		

競技課題の内容(No.1)

ショートプログラム 必須要素

シニア 滑走時間 2 分 40 秒(±10 秒間)

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	
b)単独ジャンプ	トリプルまたはクワド・ジャンプ	トリプル・ジャンプ
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3、2+4、3+4	2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	着氷後 最少 8 回転	
e)スピン	足換え 1 回のみの キャメルまたはシット	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニング または足換え無しの シット・スピンまたはキャメル・スピン
	フライング・スピンのランディング・ポジションとは異なるもの	
	各足最少 6 回転(合計 12 回転)	最少 8 回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢	
	各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ スピンのポジションと認められるためには2回転が必要。

ジュニア選手権 (2025-2026)

滑走時間 2 分 40 秒(±10 秒間)

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	ダブル・アクセル ※※
b)単独ジャンプ	ダブルまたはトリプル・ループ	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3	2+3、3+3、2+2
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	フライング・シット・スピン	
	着氷後最少 8 回転	
e)スピン	足換え 1 回のみの キャメル・スピン	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニング または足換え無しの キャメル・スピン
	各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
	各足最少 6 回転(合計 12 回転)	最少 8 回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢	
	各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには2回転が必要。

競技課題の内容(No.2)

フリー・スケートイング(バランスのとれたシニアのプログラム)

演技時間 選手権 4分(±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大 7	
	1 つはアクセル・タイプのジャンプを含む、 アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても) 2回まで	
	トリプル、クワドの 2 種類のみ、コンビネーション、シークエンスで繰り返し可能 その内クワドは1種類のみ繰り返すことが出来る 単独として繰り返された場合に合は+REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、またはジャンプ・シークエンスは、 ジャンプ・コンボ 2 回+ジャンプ・シークエンス1回、 または、ジャンプ・コンボ 3 回まで可能	
	ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シークエンスうち 1 つだけ3個のジャンプ可能	
スピン	最大 3 個	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング・エントランスのスピン	
	1 種類のポジションのスピン	
ステップ	コンボは最小 10 回転、それ以外は最小6回転	
	氷面を十分に活用したステップ・シークエンス	
コレオグラフィック・シークエンス	形状には制約はないが、明らかにそれと分かるもの 2回転までのジャンプ、スピンを含むことが出来、BOX を占めない	
	レベルはフィックス、GOE のみで評価される	

* スピンのポジションと認められるためには 2 回転が必要

フリー・スケートイング(バランスのとれたジュニアのプログラム)

演技時間 ジュニア選手権 ・5級クラス女子3分30秒(±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大 7 個	
	1 つはアクセル・タイプのジャンプを含む、 アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても) 2回まで	
	トリプルおよびクワドラプル・ジャンプのうち、2 種類のみを 2 回行うことができる。 2 種類の繰り返しのうち 1 種類のみクワドラプル・ジャンプが可能である。 単独として繰り返された場合は+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、またはジャンプ・シークエンスは、 ジャンプ・コンボ 2 回+ジャンプ・シークエンス1回、 または、ジャンプ・コンボ 3 回まで可能	
	ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シークエンスうち 1 つだけ3個のジャンプ可能	
スピン	最大 3 個	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング・エントランスのスピン	
	1 種類のポジションのスピン	
	コンボは最小 10 回転、それ以外は最小6回転	
	氷面を十分に活用したステップ・シークエンス	
コレオグラフィック・シークエンス	形状には制約はないが、明らかにそれと分かるもの 2回転までのジャンプ、スピンを含むことが出来、BOX を占めない	
	レベルはフィックス、GOE のみで評価される	

* スピンのポジションと認められるためには 2 回転が必要

競技課題の内容(No.3)

ノービス A プログラム

演技時間 男女とも 3 分 (±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	第一ジャンプとして、ループ・ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの 3 種類を含む。	
最大 6	1つはアクセル系のジャンプを含む ダブルアクセルを含む、いかなるダブル・ジャンプは (単独でもジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスとの一部としても)2回まで トリプル、クワドの 2 種類のみを、ジャンプ・コンボあるいはジャンプ・シークエンス中で繰り返すことが可能。 その内クワドは1種類のみ繰り返すことが出来る 単独として繰り返された場合は+REPが付く ジャンプ・コンボ、またはジャンプ・シークエンスは、 ジャンプ・コンボ1回+ジャンプ・シークエンス1回、 または、ジャンプ・コンボ 2 回まで可能 ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シークエンスうち 1 つだけ3個のジャンプ可能	
スピン ※	あらゆるタイプのフライング・スピン	
最大 3	フライング・スピン(足換え無し、姿勢変更無し)(最小6回転)	
	キャメルまたはシット・スピン	スピンレイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのキャメルまたはシット・スピン
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングの入りは不可、最少6回転(足換えの場合には最小10回転以上) フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行うこと スピン・コンビネーション フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最小10回転	
ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シークエンスを最大 1 つ	

※ ポジションと認めてもらうには 2 回転以上必要

ノービスBプログラム

演技時間 男女とも 2分30秒 (±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	第一ジャンプとして、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの2種類を含む。	
最大 5	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でもジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスとの一部としても)2回まで トリプル、クワドの 2 種類のみを、ジャンプ・コンボあるいはジャンプ・シークエンス中で繰り返すことが可能。 その内クワドは1種類のみ繰り返すことが出来る 単独として繰り返された場合は+REPが付く ジャンプ・コンボ、またはジャンプ・シークエンスは、 ジャンプ・コンボ1回+ジャンプ・シークエンス1回、 または、ジャンプ・コンボ 2 回まで可能 ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シークエンスうち 1 つだけ3個のジャンプ可能	
スピン ※	あらゆるタイプのフライング・スピン	
最大 3	フライング・スピン 足換え無し 姿勢変更無し 最小6回転	
	キャメルまたはシット・スピン	スピンレイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのキャメルまたはシット・スピン
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングの入りは不可、最少6回転(足換えの場合には最小10回転以上) フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行うこと スピン・コンビネーション フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最小10回転	
コレオグラフィック・シークエンス	コレオグラフィック・シークエンス	
	形状には制約が無いが、明らかにそれと分かるものレベルはフィックス、GOE のみで評価される	

※1 ポジションと認めてもらうには2回転以上必要)

競技課題の内容(No.4)

【別記 1】 2級クラス 男女共 PCSファクター1.8 (全 PC 共通) 転倒:-.02(演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション 2 回、またはジャンプ・コンビネーション 1 回+ジャンプ・シークエンスを 1 回含むことが出来る。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)。

b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)

1 つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)

1 つはスピン・コンビネーション (足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 1 種類のステップ・シークエンス 最大レベル1で評価をする

氷面を十分に利用したステップ・シークエンス

【別記 2】 1級クラス 男女共 PCSファクター1.5 (全 PC 共通) 転倒:-.02(演技時間1分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 1個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上) レベル B で評価をする

c) ステップ要素 1 種類のステップ・シークエンス

シークエンスの長さは 1/2 以上、最大レベル B で評価をする。

【別記 3】 初級クラス 男女共 PCSファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒:-0.2 (演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャン2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

シングル・スケーティング

- ・滑走時間の過不足は規定時間の過不足5秒ごとに1.0が減点される。
- ・スピンと認められるには3回転以上が必要、3回転未満は無価値となる。
- ・不足している回転が、 $1\frac{1}{4}$ 回転の場合は $q\ 1\frac{1}{2}$ 回転未満の場合には、Under-rotated “<”、 $1\frac{1}{2}$ 回転以上の場合にはDowngraded “<<”となる。
- ・シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツ・ジャンプとは異なる)

【選手権・ジュニア選手権】

- ・シングル1.1倍のボーナスが付くジャンプは、演技後半に開始されるジャンプのうち、ショートプログラムは最後の1本、フリー・スケーティングは最後の3本とする。

※本大会はブロック大会「ミニマム取得可能競技会」です

※ISUが新ルール発表した場合は、可能な限り課題に対応する予定です。

【ノービス】

- ・日本スケート連盟ノービス競技会における演技の中断による減点
プログラムが中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。
例えば 11秒～20秒 0.5 21秒～30秒 1.0 31秒～40秒 1.5
競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合、上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。
レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し2.5を減点する。
- ・演技時間の違反—超過または不足した5秒までの過不足ごとに0.5を減点する。
- ・演技開始遅れ—30秒以内の遅れで演技開始姿勢を取った場合0.5を減点する。60秒経過後は棄権となる。
- ・プログラム・コンポーネントの係数は 男子3.33、女子2.67とする。
- ・ノービスクラスの1.1倍のボーナスが付くジャンプは、演技後半に開始されるジャンプのうち、最後の2つとする。
(ノービス B は 1.1 倍のボーナス無し)

【2級以下ロークラス】

- ・規定されている最大ジャンプ数のうち、第一ジャンプが重複したものは無価値となる。
- ・転倒は1回につき0.2減点される。
- ・2級以下ロークラスにおける演技中断の減点
プログラムが中断が起こった場合には、レフリーは10秒毎に0.2を減点する。
レフリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフリーは中断全体に対し1.0を減点する。